

地域猫不妊手術実施申請書の裏面の誓約事項に加え、以下の内容をよくご確認ください。サポーターによる動物愛護センター地域猫不妊手術の利用があった場合には、本書の内容に同意しているものとみなします。

## <区役所搬入・動物愛護センター前日搬入に際して>

### 1 区役所搬入の予約について

区役所衛生課の担当者の在勤状況や業務上の理由などにより、定期又は不定期に区役所搬入の予約を承れない日がございます。

また、予約を承った後でも区役所衛生課の状況によりやむを得ず予定の変更（日程の変更、動物愛護センターに直接搬入する、など）をお願いする可能性がありますのでご了承ください。

### 2 受入れ後や搬送中の動物の体調不良には対応できません

搬送中や区役所、動物愛護センターでの保管中に動物の体調が悪化・急変した場合でも、当市ではいかなる処置も行うことができません。また、不測の事態が発生した場合にも当市では責任を負うことはできません。

動物の急な体調不良があった場合には連絡を差し上げますので、サポーターご自身にて対応をお願いいたします（緊急を要する場合には直ちに動物病院を受診させるなど適切な対応をお願いいたします）。

なお、区役所での保管中、搬送中、動物愛護センターでの保管中の夜間には動物の状態を確認することはできませんのでご注意ください（搬送車に職員は同乗しておりません）。

### 3 妊娠末期の猫は避けてください

明らかに分娩間近な猫を区役所へ搬入又は動物愛護センターへ前日搬入することは避けてください。

輸送や長時間の保管によるストレスによって分娩が誘発されてしまうだけでなく、分娩に異常が起り、親猫・子猫共に生命に危険が及ぶリスクがあります。

分娩が開始してしまった場合には手術は行えません。

また、上記のとおり動物愛護センターでは処置をすることができないのに加え、親猫・子猫の引取りはいたしませんので、サポーターご自身で対応していただくことになります。

#### 4 必ず捕獲用ケージに入れて搬入してください

搬入時は必ず捕獲用ケージに入れた状態で持ち込みしてください。1つの捕獲用ケージで搬入できる頭数は1頭のみです。2頭以上同一の捕獲用ケージに捕獲された場合は、別の捕獲用ケージに移す等の対応をお願いします。

動物愛護センターでの保管中に給餌給水が必要であり、逸走防止のために捕獲用ケージでないとは給餌給水ができません。キャリーやケージに入った状態では受入れをお断りします。

また、搬送中や保管中の逸走を防止するため、捕獲用ケージは結束バンド等で確実に開かないようにしておいてください。

#### 5 区役所の庁舎内には猫は持込まないでください。スムーズな受入れのために連絡を。

区役所の庁舎内は動物の持込みが禁止されています。猫をスムーズに衛生課へ受入れるために、自宅を出発する際には、衛生課宛て電話連絡を入れてください。また、区役所に到着した際にも猫を車（または自転車等）から降ろさず、衛生課宛てに電話連絡して職員の指示を受けてください。

#### (多摩区のみ)

#### 6 多摩区役所に搬入する場合は、事前に区役所衛生課に連絡してください。

多摩区役所には犬舎に駐車スペースがあります。逸走防止対策として犬舎駐車スペースに駐車してもらいます。事前に区役所衛生課に電話連絡（044-935-3306）し駐車場所の確認をしてください。

#### 7 動物愛護センター受入後も手術を行えない場合があります

動物愛護センターで受入後、動物愛護センター職員（獣医師）が手術実施の可否を判断します。耳カットがある場合や、重度な衰弱、脱水又は貧血がある、重度な風症状がある、一定の年齢・大きさ（概ね生後4～5月以上・体重1.5kg以上）に満たない、その他手術できる健康状態ではないと判断した場合などには手術を行いません。

また、潜在精巣（隠辜）については動物愛護センターでは手術をすることができません。

手術不可と判断した場合には、手術せずに動物を返還いたします（その旨をご連絡します）。

#### <自宅等への搬送による返還に際して>

#### 1 搬送中に動物の状態を確認することはできません

動物の搬送を行う運転手は専門知識を持った職員ではなく市から委託された搬送業者となります。また、市の獣医師職員は同乗しておりません。搬送中に動物の状態を確認することはできませんのでご注意ください。

## 2 手術した動物のことなどで質問がある場合には直接動物愛護センターまで

搬送を行う運転手は手術のことや動物のことについての質問等には一切回答することができません。

ご質問等がある場合には直接動物愛護センターまでお問い合わせください。

## 3 動物の積み下ろしはご自身で行っていただきます

搬送を行う運転手は捕獲用ケージ等に触れることができません。ご自身で車の荷台に上がって捕獲用ケージを積み下ろしていただく必要があります（車はバン又は軽バンです）。